

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2008.3

第4回「食品バイオマス資源化シンポジウム」を開催

本財団では、2月27日(水)13:30から大宮ソニックシティ906研修室において、第4回「都市系食品バイオマス資源化推進シンポジウム」を開催しました。2007年度以来、本財団が取り組む都市エリア事業の一環として開催してきたもので、今回も関連事業者・団体関係者・NPO等をはじめ100名を越える参加者で活気あふれる交流の場となりました。

●食品リサイクルと環境保全型農業のビジネス展開へ

06年3月の第1回開催以来、4回目を数える今回のシンポジウムは、07年3月に設立された「食品バイオマス資源循環推進研究協議会」を中心に、埼玉県農林総合研究センター及び埼玉県農林部農産物安全課(バイオマス担当)、埼玉大学共生社会研究センターと本財団が共同で実施したものです。

特に今回は、「リサイクルループの構築を目指して」とのテーマのもと、(株)船井総合研究所・環境ビジネスコンサルティンググループのチームリーダー・山田浩太氏を講師としてお招きし、豊富な現場サポートの経験を踏まえた農業・食品リサイクルビジネスの成功要因や「地域ネットワーク化モデル」の展開方向について、基調講演をお願いしました。



【写真】講師・参加者を交えた会場での意見交換の様子

また、これを受けて、県下吉川市に本拠を置く若い世代の生産者集団・(株)くらしの里の山崎能央氏らからは、「環境保全型農業と食品バイオマス肥料」と題して生産現場からの力強い取組み報告が行われました。

その後会場では、両講師と協議会の西山賢一会長(上武大学教授)をパネリストに、フロアの参加者も交えた意見交換が活発に行われ、シンポジウム終了後も、14階のレストランに場所を移した情報交換会では、参加者同士の親密なやりとりが予定時間を越えて熱っぽく交わされていました。

●「彩の国ビジネスアリーナ2008」で都市エリア事業成果をPR

県内最大の展示商談会として知られる「彩の国ビジネスアリーナ2008」((財)埼玉県中小企業振興公社ほか主催)が、2月14日(木)から15日(金)まで、さいたまスーパーアリーナで開催されました。

当財団では、「資源循環・リサイクル」をテーマとして、平成17年度から埼玉県の中核機関として取り組んできた「都市エリア産学官連携促進事業(関東平野さいたまエリア)」の研究成果について、環境分野に関わる事業者をはじめとした来場者に、展示ブースにおいてPRしました。

開催期間中は、広域商談会や講演会も同時に行われ、たくさんの来場者がありました。



【写真】展示商談会にて当財団ブースの様子

●I OC本庄早稲田 新しい入居者が決定しました



【写真】左から、タカコ・ナカムラ代表取締役、井上克利さん、井上めぐみさん

I OC本庄早稲田では今年1月に入居者を公募し、このたび新たに1社の入居が決定しました。

◆(株)タカコ・ナカムラOEC

V204入居

代表取締役：タカコ・ナカムラ

本社所在地：東京都渋谷区

会社設立：2006年5月

入居開始：2008年4月予定

主な事業：有機農産物の生産者や研究機関と消費者を繋ぐ情報・物流ネットワークシステムの研究・開発

同社は、「Whole Food Lifestyle」という健康・暮らし・農業・環境をまると考える取り組みを行ってまいります。

本庄地域から新しく始まる「Whole Food」の提案にご注目ください。

市内の小学生が留学生に劇を披露

2月8日(金)、早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンターにて、本市市立北泉小学校6年生の皆さんが、早稲田大学本庄キャンパスで学ぶ留学生に劇を披露してくれました。

劇は、昨年6月に留学生が同小学校の総合的学習の時間(国際理解)に訪問しており、生徒から留学生へのお礼として実施されたものです。

劇は全て英語で演じられ、生徒の皆さんが一生涯懸命に練習した事がよく伝わり、留学生が日本の劇を満喫しました。



【写真左】演劇時の様子

【写真右】劇鑑賞の様子

◆イベントカレンダー◆

【4月】

●4/3(木)-早稲田大学大学院国際情報通信研究科 GTS入学式; 1330~1615; 於 FPOC